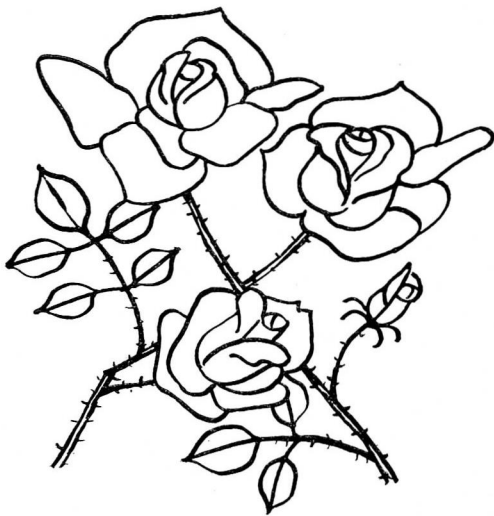


# つるばらの栽培



園芸部 石田文三郎

バラは蔓性種、叢性種に区別され、中で叢性種は皆様も御承知の一般に広く栽培されている種類であります。

バラは蔓性種、叢性種に区別され、中で叢性種は皆様も御承知の一般に広く栽培されている種類であります。蔓性種の中には気候の関係で本州では開花する品種も北海道では冬の寒さで枯れるもの、またはたとえ冬越して繁茂しても秋の日照時間や温度の関係で開花しないもの、例えば蔓性ピニスなどは本州ではよく繁茂し花も数多く咲かせる事が出来ますが北海道では蔓はよく伸びますが花は着きません。折角植込んだ品種も夏の間はよく成長するが、越冬の場合充分よく冬囲いしても新梢が冬枯れして開花しないものなどがありますので、本道で栽培してよく開花する蔓性の品種を選んで栽培しなければなりません。以下少しくその栽培法及び品種について記すること

に致します。

## 気候

バラは元来が温帯の植物で日当りを好むのでありまして、北海道はバラ栽培には少々寒過ぎるのでありますから、本州方面と異なり一日中日当りがよく北風を受けにくい、少なくとも六時間以上太陽の光線の当たる、しかも風通しのよい所であれば完全なる栽培は困難であります。

## 土質

蔓バラを植込む場所はいま述べた如く、日当りのよい場所から玄関に入る道路の両側とか、または垣根、その他南面の建物の前などに植込むのが普通であります。

その植込む場所がきまつたなら土質を調べなければなりません。バラを作る上に於いて日当たり、次に考えなければならぬ事は土質であります。バラに適する土質は保水力のある粘質壤土で、しかも排水の良い土地が一番適しております。もしこのような土質でなく砂地や泥炭地等の場合は、ほから粘質壤土または少々赤土混入のものを客土すればよろしいでしょう。

## 客土

客土の方法には二つの仕方があります。その一つはバラを植込む株の周囲を六〇センチ、深さも六〇センチを掘り取ってその中に粘質壤土または赤土混りの土を入れ替えてやればよろしいのであります。その第二の方法はバラを植込むべき全面積を深さ五〇センチ土を取り替える方法もあります。この際排水の悪い土地は小砂利を底に入れたり細い土管を入れて排水するかバラを植込む場所を少々高く、土を盛り上げて植込む方法などがあります。

## 蔓バラの肥料

バラ栽培の秘訣は日当たりの良否、土質、植込の時期、苗の優劣、品種の選定、剪定の方法などによりますが、一つには肥料の種類及びその施す時期、分量、方法にも依る事が多いのでバラの肥料について述べることに致します。

## 牛糞と塵芥土

牛糞はバラ栽培に最も適するものでこれ

を元肥として植込めば良いのであります。この堆肥が手に入らぬ場合は塵芥即ち台所などで出る野菜くず、魚の頭、落葉などを堆積して腐熟したものを元肥として用いますが、両者とも三、四ヶ月堆積して腐ったものを用います。

## 乾燥肥料の作り方

バラ栽培で最も必要なのは乾燥肥料であります。その作り方は魚粕四畝、骨粉四畝、米糠四畝、畑土八畝、これをよく混ぜ合せ加露で水をそそぎ、湿気を含ませ日の当たる場所に積み上げその上から藁をかけて十日もたつと酸酵が盛んになった時掘り上げて如露で湿気を含ませて、再度積み重ね藁で覆っておけば一ヶ月位で酸酵が止り、これで乾燥肥料は出来たので箱などに入れて雨の当たらぬ場所に貯蔵します。

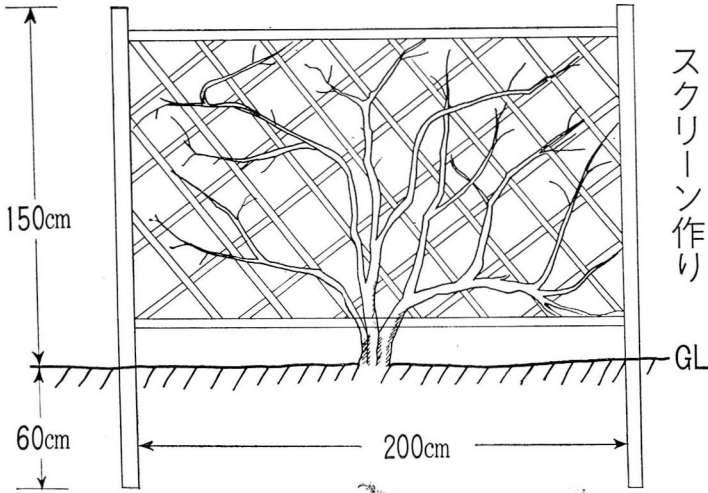
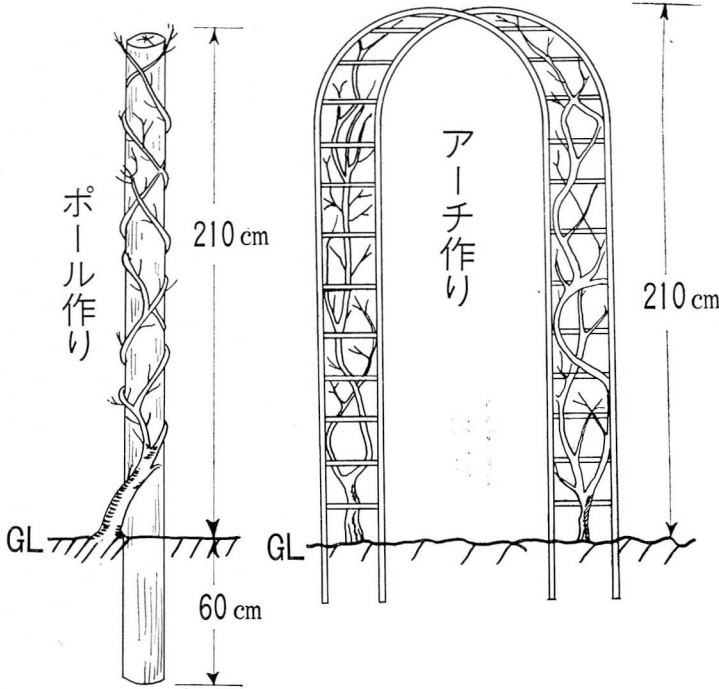
## 液肥原液の作り方

液肥は主として追肥として使用するもので、その作り方は魚粕二畝、油粕二畝、米糠四畝、人糞尿の腐ったもの一〇畝、水二〇畝を入れ二ヶ月以上酸酵をさせたものをバラに施す際更に一〇倍以上にうすめて使います。

## 蔓バラの品種

北海道における蔓バラの栽培は前述の如く日照時間及び温度の関係でどの品種も栽培出来るには限りません。そこで特に北海道で栽培ができ、幹も伸び花もよく咲く品種を記すことに致します。

つるばらの仕立て方



◎ハイヌーン

蔓性種で四季咲のバラとしては花着もよく花色も濃い黄色で、寒さにも強くよく伸びる優良種です。

◎ゴールドenseptate

蔓性種のゴールドenseptateの枝変りでは花は濃い黄色、寒さに強く幹もよく伸び花着も良い北海道に適する種類です。

◎イナ・ハークネス

剣弁種で鮮やかなピロッド緋紅色で大輪四季咲種で樹勢も強く北海道に適する種類です。

◎エデンローズ

蔓性種のエデンローズの枝変りで非常に伸長力旺盛で三層以上にも伸び濃桃色の美しい大輪、花着もよく本道に適する蔓バラです。

◎ドンファン

中輪房咲の蔓バラで花色は黒のあるピロッド赤色、樹勢も強健で幹の伸びもよく本道に適する種類です。

◎ミセSP・S・ジュボン

濃い杏黄色の中輪咲で幹もよく伸び花着も良い北海道に適する種類です。

◎ダンス・ド・シェルフ

中輪房咲種で花は緋赤ローズ色、幹の伸長旺盛で強健なる種類です。

◎ニュードン

花は美しい淡桃色の中輪種で花着もよく樹勢の強健なる品種です。

◎スパニッシュ・ビューティ

半八重咲種でピンク色の波状弁中大輪、幹もよく伸び花着も良く樹勢強健で本道に適する品種です。

◎スカレットシャワー

開花期の早い非常に鮮明なる赤色で幹も

スクリーン作り

蔓バラの定植

よく伸び花着もよい強健種です。これ以外の蔓バラで小輪種の白、赤、桃等の品種がありますが略します。

蔓バラを栽培するには植える場所によって作り方が異なります。先ずポール作り、垣根作り(スクリーン作り)、アーチ作りに区別されます。

蔓バラの植込む時期は本道では雪どけ後四月下旬頃から五月初旬頃が最適です。

**ポール作り** 丸太を立てこれに幹を誘引細縄で結束して栽培する法で丸太の長さ二七〇センチ、末口九センチの丸太を用い予め白ベロンキを塗っておきます。この丸太を蔓バラを植込む場所即ち前述した道路の両側とか建物の南側などを選び株の間隔は一五〇センチ程一株としここに丸太を六〇センチ程うめこみ、その前を六〇センチ程円形の穴を作り、土質が悪い時は前に述べた粘質壤土の客土をすることが必要です。この植穴の中に牛糞又は塵芥土の腐ったものを二キロ、三キロ程を入れ更に前述のバラの乾燥肥料三キロと糞灰を片手に一つかみ程を入れ、よく堆肥と混ぜ合わせ、その上を足で軽く踏みつけ、その上に土を少々かけた処へ蔓バラの二年苗で根のよく張ったものを植込み、この時不必要なる小枝は剪定し、バラ苗の接木目が地面に出ないようにして少々土をかけた処へ更にバラの乾燥肥料三キロ及び糞灰を片手に一つかみを入れ、よく混ぜ合わせたところでその上に土を地面の高さまでかけて充分灌水します。

垣根作り 二〇〇ポツ間隔に柱を立てその

高さは地上一五〇ポツ位にしてその間は金鋼または十番線位の亜鉛引鉄線を横に三〇ポツ置きに四段作り、その二段の間隔の中央に蔓バラ苗を植込むこととなります。植方はポール作の時と同じで柱や鉄線には白ペンキを塗ると見事に見えます。

アーチ作り この作り方も道路の両側とか建物の南側などに作るもので、アーチの幅は一〇〇ポツ位で高さは二〇〇〜二三〇ポツ位アーチは木造で作るか鉄骨で作り白ペンキを塗ったものが用いられております。蔓バラの植込はポール作りと同一でアーチの両側に植込むこととなります。

### 追肥の施し方

新しく定植した蔓バラ及び前年植込んだものは五月になると新芽が伸び始めます。この時から追肥として液肥（肥料の項で記載のもの）を一〇倍にうすめて一株に一ポツ位を施し十日に一回位の割合で蕾が色づくまで施し花が咲き始めたなら追肥は一時中止します。この間シュート（新梢）の太いのも一株三本位を残し他は除去することが必要です。

七月下旬頃から再び追肥を一五倍位にうすめたものを少々量を多くし十日に一回位の割合で施せば植込んだ年は花は多くは咲きませんが新梢がよく伸びこの新梢に明年数多く花を咲かせることが出来ます。この新梢即ちシュートの太くてよく伸び、充実した枝を作ることが蔓バラ作りの秘訣です。ポール作り、垣根作り、アーチ作り共に新梢の伸びるものは随時細繩で結束するこ

とが必要です。

### 冬 囲

蔓バラを作るには本年のシュートの肥大のものを数多く作るという事が大切なこと、この伸びた新梢はポール、又は垣根、アーチ等より秋十月下旬〜十一月初旬頃取りはなし莖で幹を包み地面に横たえ越冬する方法、その他ポール、垣根、アーチ等より取りはなししたものもを繩でまとめて、地面に寝かしその上に莖を覆い幹が起き上らぬ様に丸太などで上をおさえその上に雪がすっぽり覆うようにすることも一方法です。

北海道は場所によっては冬に雪が降らないでバラの冬囲いをして莖包等が表面に表れるような土地がありますが、このような土地では地面に横にねかし、莖の上から土をかけて越冬をさせる事が必要です。

### 剪 定

春雪がとけ四月下旬になれば暖かくなるので冬囲の莖包や横にねかした幹は起こして剪定しなければなりません。この際肥えた昨年の新梢即ちシュートは三、四本を残しほかの小枝は全部根元から剪定し、この際肥えた新梢でも冬の間寒さのため枯化した部分は途中から剪定しポール作り又は垣根作り、アーチ作等、それぞれ細繩（シロ繩）で結び垣根及びアーチ作りはなるべく広げて結びつける事が必要である。それと同時に株の根元を少々掘って乾燥肥料を五デンス（約二合八勺）と糞灰を両手で一握り程を入れよく混ぜ合わせた上に土をかけなければなりません。

### 蔓バラの病虫害

バラは発育旺盛であっても、途中病虫害に侵されるとせっかく丹精こめて栽培したものも、完全なる成果を納めることは出来ません。

#### うどんこ病

この病気は白サビ病とも言い、バラには非常に多い病気で春花蕾の大きくなる頃から新芽や葉の表面にうどん粉をふりかけたように病状が現われるので初歩の人でもわかります。病勢が進むにつれて新梢、古い葉、花、蕾等も侵されて、よい花を見ることは出来ません。

この病気を駆除するには、石灰、硫黄合剤の八〇倍から一〇〇倍液を葉や幹に散布し両三日をへて再度散布すれば駆除する事が出来る。

#### 黒点病

この病気は一名黒斑病と言われ葉の表面に黒い斑点が表われ緑色の部分が黄変し、更に病気が進むと葉は落葉し全部の葉が落ちることもあります。北海道ではその被害は少ないのでありますが本州では特にその被害が大きい様です。

被害にかかった時は落葉を集めて焼却すると共に石灰ボルドウ液（三斗式）とか粉末ボルドウ剤、ダイセン等を発育中三、四回位散布すれば駆除することが出来る。

#### アブラムシ

この害虫はバラばかりでなく色々な植物の新芽とか花に密集して植物の養液を吸って害を及ぼします。この虫は繁殖力が非常に旺盛で一匹の雌は数時間の間に何千匹も

の幼虫を生み繁殖して油断が出来ません。

この虫は発見次第BHC、デリス、ロデゾールの八〇〇倍液の散布により駆除出来ます。

#### アカダニ

アカダニは赤色の蜘蛛に似た小さな虫でバラの葉の裏に付着し養分を吸って害を及ぼします。この虫は乾燥すると特に繁殖力が旺盛です。この虫を駆除するにはニコチン剤、ロデゾール剤の八〇〇倍液を散布することによって駆除出来ます。

#### 貝殻虫

この虫はバラに限らず色々な植物の枝や幹に貝殻状の皮をつけて密着し樹液を吸う害虫です。この虫は貝殻をつけて樹の枝に密着しているため少々位薬剤を散布しても殺すことが出来ません。

それでこの虫の繁殖期に石灰硫黄合剤をたびたび散布するか、毛の堅いブラシにこの液を着けてこすり落とします。冬期十一月頃であったなら石灰硫黄合剤の八倍液の濃い液を幹に散布して駆除します。

#### 葉巻虫

この虫は六月頃イボタの垣などに発生しその頃からバラにも付着し新葉を食した上に葉を集めてその中で生活するので葉巻虫の名があり、被害甚だしいものがあります。この虫は六月頃バラの葉を食している時に硫酸ニコチン、又はロデゾールを数回散布することで駆除出来ますが葉を巻いて虫が中へ入ってからは葉剤散布しても効き目が少ないので葉を巻く前に散布する事が必要です。